

令和8年度

NO.6

2026/9/11

松戸市立第一中学校

ぶんこう

みらい分校だより



個人面談

新学期のスタートにあたり、個人面談を実施しました。面談では、夏休みの様子、今学期がんばりたいことなど、一人ひとりの思いを聞きました。「もっと日本語で話せるようになりたい」「高校入試が不安」「3年生としてリーダーの役割を果たしたい」など、素直な言葉で語られる姿から、学びに対する強い意欲が伝わってきました。生徒の目標は一人ひとり違います。だからこそ、本校では個々に寄り添い、安心して力を伸ばせるよう支援をしていきたいと思っています。

後期体験入学

みらい分校では、4月と10月に入学式があります。今は10月に入学を考えている4名が、体験入学に参加しています。1年生の生徒と一緒に授業を体験して、今後本校でがんばっていけるかを判断します。これまでは、体験入学のときに在校生から優しく接してもらったことが、入学の決め手になったという生徒もたくさんいました。後期も多くの仲間が増えることを、今から期待しています。



ケヤキッズ交流会

隣接するケヤキッズ（幼稚園）との交流会が9月9日（水）にありました。みらい分校からは、7人の有志が参加しました。始めの会ではマジックをして、子どもたちを驚かせていました。そのあと、美術の学習で作ったうちわをプレゼントしました。子どもたちは興味津々でした。そして、3つの部屋に分かれ、子どもと一緒に遊びました。ブロックをしたり、折り紙をしたり、おもちゃのごちそうでもてなしてもらったり、楽しそうに活動していました。普段とは違った生徒たちの姿を見ることができました。



教科の紹介(1) 国語

みらい分校の国語は「基礎国語」と「国語」に分かれています。基礎国語は、日本語を母語としない生徒が学びます。小学校の教科書を使いながら、語彙を増やしたり、オノマトペ（擬音語、擬声語、擬態語）を覚えたり、文法を学んだりしています。中学校や高校の国語の学習内容を理解できるようにするためです。国語は、日本語が母語の生徒が学ぶ教科です。「話す・聞く・書く・読む」の技能が養えるように工夫しています。少人数の学習なので、一人ひとりが自分の考えをもち、それを表現することができます。文章を書いたり、読書の習慣を身につけたりと、学んだことを生活のなかで生かせるようにしていきます。

